

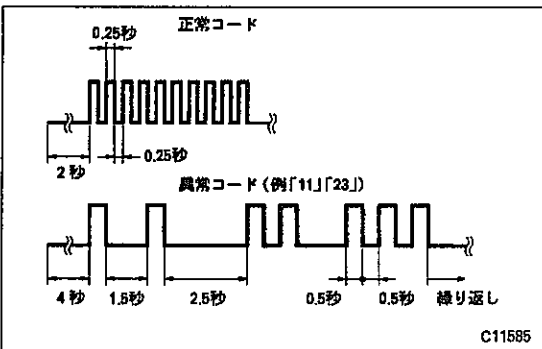
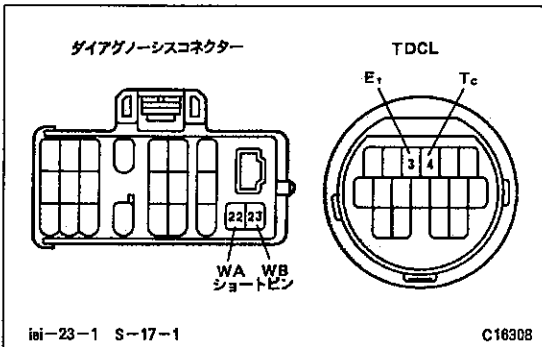
E-SX90系, E-GX90系, E-JZX90, 91系, Y-LX90系(マークII, チェイサー, クレスタ) P, A, V店

標 題 トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ修理書の内容一部訂正のお知らせ

トヨタ マークII, チェイサー, クレスタ修理書/下巻(品番 62144, 1992年10月発行)の内容に誤りがありましたので訂正します。

部位 P13-103 ダイアグノーシスコード点検

正

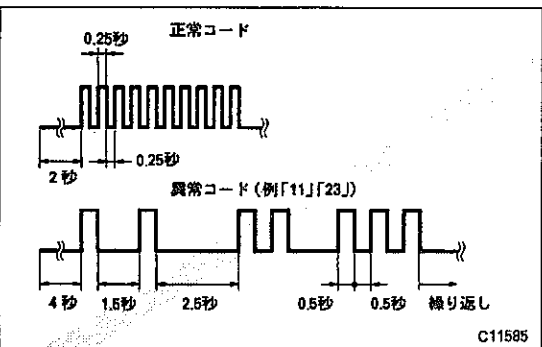
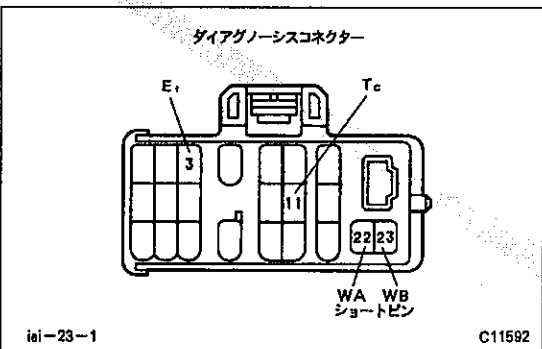


2 ダイアグノーシスコード点検

コンビネーションメーターによる読み取り

- (1) ダイアグノーシスコネクターのショートピンを取りはずす。
- (2) TDCLの $T_c \leftrightarrow E_1$ 端子間を短絡する。
注意 コネクターの短絡位置を間違えると故障の原因のため絶対に間違えない。
- (3) イグニッションスイッチをONにして、ABSウォーニングランプの点滅回数を読み取る。
 〈参考〉・正常な場合は、0.25秒点灯、0.25秒消灯を繰り返す。
 ・ダイアグノーシスコードが1つの場合は4秒の間隔において同一コードを出力し、複数のコードを出力する場合は、異なるコードを2.5秒間隔で出力し、一巡すると4秒間隔において再度出力する。
 ・複数のコードを出力する場合は、コード番号の小さいものから順に出力する。
- (4) TDCLの $T_c \leftrightarrow E_1$ 端子間を開放する。
- (5) ダイアグノーシスコネクターの $WA \leftrightarrow WB$ 端子間にショートピンを取り付ける。
注意 異常箇所がある場合は、修理後ダイアグノーシスコードの記憶を消去する。

誤



2 ダイアグノーシスコード点検

コンビネーションメーターによる読み取り

- (1) ダイアグノーシスコネクターのショートピンを取りはずす。
- (2) ダイアグノーシスコネクターの $T_c \leftrightarrow E_1$ 端子間を短絡する。
注意 コネクターの短絡位置を間違えると故障の原因のため絶対に間違えない。
- (3) イグニッションスイッチをONにして、ABSウォーニングランプの点滅回数を読み取る。
 〈参考〉・正常な場合は、0.25秒点灯、0.25秒消灯を繰り返す。
 ・ダイアグノーシスコードが1つの場合は4秒の間隔において同一コードを出力し、複数のコードを出力する場合は、異なるコードを2.5秒間隔で出力し、一巡すると4秒間隔において再度出力する。
 ・複数のコードを出力する場合は、コード番号の小さいものから順に出力する。
- (4) ダイアグノーシスコネクターの $T_c \leftrightarrow E_1$ 端子間を開放する。
- (5) ダイアグノーシスコネクターの $WA \leftrightarrow WB$ 端子間にショートピンを取り付ける。
注意 異常箇所がある場合は、修理後ダイアグノーシスコードの記憶を消去する。